

スポーツ文化に貢献する湘南ベルマーレ 経営状況と追加出資の目的問う



熱い声援を送るサポーター

議員 本市のスポーツ活動の活性化に大きく貢献していると思われる湘南ベルマーレに追加出資する理由を聞きたい。

市長 現在湘南ベルマーレは、活動拠点としてい

議員 今回の増資目標株式総数は二六〇〇株である。予定されるスポンサー企業二社の引き受け分を除く六〇〇株の四分の一に当たる株式相当額である七五〇万円を本市が出資することとした。

議員 湘南ベルマーレへの今後の本市の支援についての考えを聞きたい。

市長 湘南ベルマーレは、本市のまちの活性化や地域スポーツの発展に大きな役割を担っている市民クラブと認識している。今後も、本市が可能な範

食育推進に重要な役割

栄養教諭の配置を

議員 平成十八年三月に策定された国の食育推進基本計画では、地場産給食の拡大や朝食の欠食率の改善などに数値目標を設定して食育の推進を図っているが、本市では今後どのような対応を考えているのか。

健康福祉部長 本市の食育推進には、自主的かつ

の対応を聞きたい。

健康福祉部長 栄養教諭は、その専門性を十分に発揮し、食に関する指導を充実させることが期待されている。本市では、学校栄養職員に栄養教諭免許取得のための認定講習を受講させるとともに、県に対して栄養教諭の配置を積極的に働きか

平塚市教育推進方策の提言 学校現場へどう反映

議員 教育現場では常に研究と改善努力が求められているが、その解決策として平塚市学校教育課題研究会から出された「今後の平塚市の教育の推進方策についての提言」を受け、どのような取り

けていく。

議員 子供たちにとって米飯給食は、栄養の面からバランスのとれた健康食であると考えますが、米飯給食の回数を増やす考えはあるのか。

健康福祉部長 米飯給食はパン給食と比べ一食当たりの単価が高く、給食費の改定等の課題がある。米飯給食の回数増については、今後、小学校長で構成する平塚市学校給食会等で検討していく。



教員を対象とした研修の様子

組みをしているのか。

教育長 実施可能なものから取り組み、提言内容を反映させるよう検討を進めており、すでに、教員の能力や経験に応じた実践力を高める研修を実施している。また、校内研究の充実に向け、より専門的な研修が可能となるよう大学の教員にスーパーバイザーの役割を依頼したり、退職した教職員を教育研究所の研究員

中学校の部活動 本市の地域指導者の派遣状況聞く

議員 平成十五年に「平塚市中学校部活動のあり方検討会」から、部活動の指導者や部員の不足などの問題が提起されていたが、本市の現在の地域指導者の状況を聞きたい。

教育長 報告書が出された当時は、教員の高齢化等のため、学校側だけでは部活動の運営が困難な状況で、地域指導者の派遣充実が求められていた。それ以前からのさまざまな取り組みの効果もあり、

請願の審査概要

六月定例会では五件の審査が行われた。

個に応じた教育を実現するための学級規模の縮小・弾力化、三〇人以下学級実現を求める請願 教育において、子供たちが安心して学べる体制の実現を求め、本請願を趣旨採択したいとの意見があった。採決した結果、採択すべきものとなり、本会議でも採択と決定した。

ゆたかな教育を実現するため、平成十九年度の教育予算増額を求める請願 子供たちの将来を見越した豊かな教育を実現するうえで、家庭における教育費等の負担は重い状況にある。本請願項目の実現を目指した取り組みを実施するため、本請願を採択したいとの意見があった。採決した結果、採択すべきものとなり、本会議でも趣旨採択と決定した。

なお、一般林政の具体的施策の実施及び地球温暖化防止森林吸収源対策の着実な推進を求める請願は、継続審査と決定した。

平成十九年度の義務教育

「中一ギャップ」対応・対策は

議員 小学生から中学一年生に進学した際、生活の変化等になじみず、不適応行動を示す「中一ギャップ」への対応と対策について聞きたい。

教育長 個別の取り組みを行うとともに、子ども教育相談センター等の関係機関で対応している。また学校では、担任だけでなく、場合によっては

に積極的に委嘱するなど、実践力を高める取り組みを始めている。

議員 この提言内容を学校関係職員へどのように周知してきたのか。

教育長 これまでに、校長会や研修会を通して各校の校長に周知を図った。今後、学校関係者による検討会で具現化の道筋を明確にし、提言内容とともに全教職員に示していく予定である。

「小一プロブレム」幼保との連携が重要

議員 友人関係が築きにくい、離席が目立つ、授業が成立しないなど、学級崩壊につながるケースもある「小一プロブレム」についての対応・対策について聞きたい。

教育長 対応としては、校内体制を工夫して担任以外の先生がフォローするなど、学校全体で支援する体制をとっている。また、幼稚園・保育園との連携を進め、入学前に教員が幼稚園・保育園を訪問したり、小学校へ幼稚園児を招待するなどの取り組みも始めている。